

2021 年 7 月 14 日

## 2021 年度第 2 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2021 年度第 2 四半期決算を発表しました。

### 第 2 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は 92 億ドル(希薄化後 1 株当たり 1.03 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、4%減少して 215 億ドルとなりました。
- 貸倒引当金繰入額は、マクロ経済見通しが改善する中、22 億ドルの引当金の取崩しを反映して 67 億ドル減少し、16 億ドルの戻入となりました。
- 非金利費用は、16 億ドル(12%)増加して 150 億ドルとなりました。これには、報酬及び給付費用の増加、ESG イニシアチブを支援するためのバンク・オブ・アメリカ財団への 500 百万ドルの拠出、並びに州の失業給付に関する取引カード請求の処理に伴う 300 百万ドルが含まれます。
- 事業セグメントの平均貸出金及びリース金融残高は、前年同期比で 11%減少して 8,890 億ドルとなりましたが、前四半期比では 18 億ドル増加しました。給与保証プログラムを除くと、貸出金残高は、前四半期比で 51 億ドル増加しました。
- 預金残高は、2,310 億ドル(14%)増加して 1.9 兆ドルとなりました。
- 平均グローバル流動性は、預金残高の大幅な増加を反映し、2,670 億ドル(34%)増加して 1.1 兆ドルとなり、過去最高を記録しました。
- 普通株式等ティア 1(CET1)比率は、11.5%(標準的アプローチ)と堅調に推移しました。
- 普通配当及び株式の買戻しにより、株主に対して 58 億ドルを還元しました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。